

令和2年度の就園状況について

1 ニーズの増大

- 平成29年4月：申込者数 2,239人（前年比 89人増）
- 平成30年4月：申込者数 2,359人（前年比 120人増）
- 平成31年4月：申込者数 2,531人（前年比 172人増）
- 令和2年4月：申込者数 2,591人（前年比 60人増）

2 これまでの待機児童対策

① 施設整備等による定員増加

- 平成29年4月：定員 2,308人（前年比 237人増）
認可保育所 120人増
認定こども園 105人増
小規模保育事業所 12人増
- 平成30年4月：定員 2,348人（前年比 40人増）
小規模を保育園へ移行 40人増
- 平成31年4月：定員 2,519人（前年比 171人増）
公私連携型保育所拡充 90人増
南部認定こども園開園 30人増
認定こども園定員増 20人増
小規模保育事業所2園 31人増
- 令和2年4月：定員 2,714人（前年比 195人増）
南部認定こども園開園 15人増
認可保育園 138人増
小規模保育事業所2園 38人増
小規模保育事業所定員 4人増

施設整備等による定員増計 643人

② ソフト対策

- 公立幼稚園の預かり保育及び平成30年度から実施している三笠・土方幼稚園での延長預かり保育（早朝7:15から夕方18:00まで）における受入体制の構築（保育士の配置）
- 掛川協働保育園等保育料助成事業の拡充による認可園との保育料負担差の解消
- 保育士等就職応援資金貸付事業の実施により28人の人材確保（新卒9人、転職復職19人）
- 「お仕事応援相談会」の開催により、28年度から保育士等計16人の人材確保
- 中東遠総合医療センター内の保育園に対する地域枠新設の働きかけによる受入枠の拡大
- 私立園と連携した保育士確保による受け入れ人数の増加に向けた取り組み

③ 企業主導型保育事業の取り組み

市では、企業による子育てと仕事の両立環境の整備を図るため、企業主導型保育事業も推進してきました。

- 平成 29 年 4 月：定員数 19 人（前年比 19 人増） 1 園
- 平成 30 年 4 月：定員数 69 人（前年比 50 人増） 1 園
- 平成 31 年 4 月：定員数 104 人（前年比 35 人増） 2 園
- 令和 2 年 4 月：定員数 123 人（前年比 19 人増） 1 園

3 令和2年4月の状況

認可保育園入所者数 2,417 人（前年比 90 人増）

認可保育園に入所できなかった方 174 人（前年比 30 人減）



※ 施設入所者数

4 令和2年度の主な対策

- 宮脇地内に定員 90 人の公私連携型保育園を整備
- 智光幼稚園の認定こども園化及びよこすかぬく森こども園の建設支援
- 事業者に対して企業主導型保育事業の働きかけ
- 保育士等就職応援資金貸付事業などによる保育士等の確保